

5 本時（第5学年：12/14，第6学年：4/6）

(1) 目標

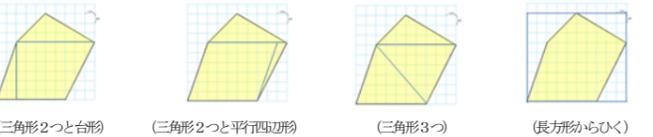
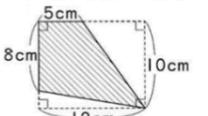
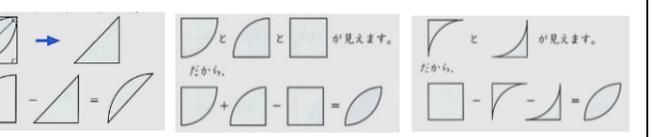
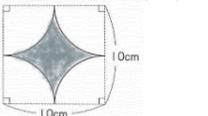
○ 一般の四角形や五角形の面積を求めることができる。

○ おうぎ形について、中心角と面積の関係を調べ、面積の求め方を考えることができる。

(2) 指導に当たって

同時導入で授業を展開し、つかむ・見通す段階では、ガイドを中心に学習問題から自分たちでめあてを導き出し、主体的に問題解決に取り組んでいこうとする雰囲気を大切にしたい。練り上げの段階では、自力解決したことについてガイドを中心にホワイトボードを用いて話し合わせ、共通点や相違点を探していく活動を行い、まとめへとつなげる。まとめる段階では、共通点や相違点、大切な言葉を基に自分たちでまとめができるようにしたい。振り返りの場面では、肯定的に考えの変容を捉えさせ、最終的な自分の考えを明確にさせる。さらに、異学年の交流を図り、本時でどのようなことができるようになったのか、どのように考えが変容したのかを子供に実感させられるようにしたい。

(3) 実際 (必)必要性 (自)自律性 (関)関係性 (有)有用性

指導上の留意点	主な学習活動（第5学年）	過程	位置/時間	過程	主な学習活動（第6学年）	指導上の留意点
<p>(必) 1 単位時間を通して異学年の子供同士が学び合える場を設定するために、両学年共通の学習課題で同時導入を行う。</p> <p>(必) 必要性を意識して課題に取り組めるように、既習から未習へと繋がる課題との出会いを工夫し、予想、感覚、既習事項とのずれを捉えさせる。</p> <p>(必) 必要感をもって課題に取り組めるように、前時までの学習との違いから、気付いたこと（今までと違うこと）に着目させ、全体で本時のめあてを引き出していけるようにする。</p> <p>(自) 本時で使いそうな見方・考え方の手掛かりをもたせるために、既習内容を掲示し、問題解決に適した方法を個々で選択・決定できるように、全体で見通しをもたせる。</p> <p>(自) 自ら学び自ら考える学習を促すために、ロイロノートの資料箱や蓄積してきたテキストを活用させたり、方眼紙に図形が描かれた用紙を使って、実際に操作させたりする。</p> <p>(自) 自力解決が難しい子供には、見通しを基に解決の方法を選択させ、自分が決めた方法で課題解決を図れるようにする。</p> <p>(関) 考えを可視化し、類型化による話し合いの焦点化を図るために、自分の考えをホワイトボードに書かせて考えを交流させる。</p> <p>(関) 自分の考えを広げたり深めたりするために、個々の考えの分類・整理を行い、友達のことを聞きながらオンタイムで考えを付け加えさせる。また、交流後には、考えの変容（強固・付加・修正）の要因となった友達のことを自分のロイロノートに加えさせる。</p> <p>(関) まとめへと繋げるために、「分けてたす」「補ってひく」といった働かせた見方・考え方の可視化を図り、「公式が使える図形を見つける」という共通点に着目させる。</p> <p>(有) 一般化を図り、達成感や成就感を図るために、適用問題を解く。</p> <p>(有) 自己の変容を肯定的に捉えさせるために、振り返りの際に「じ・か・つカード」を黒板に提示させ、最終的な自分の考えと自己の変容の要因に着目して振り返りをさせる。</p> <p>(有) 学びの深まりや話し合い（学び方）のよさを実感できるように、振り返りを行うとともに、系統性を明らかにするために、異学年の交流を図る。</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 学習課題を確認し、気付いたことを話し合う。 <div data-bbox="676 548 1062 590" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どちらの面積が広いでしょう。</div> <div data-bbox="706 611 1092 674" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五角形だ。五角形の面積を求めるのは初めてだ。</div> </p> <p>3 学習のめあてを確認する。 <div data-bbox="676 726 1329 800" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまで学習していない図形の面積は、どのようにすれば求められるだろうか。</div> </p> <p>4 方法の見通しと答えの見積りを立てる。 <div data-bbox="706 873 1240 936" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今までみたいに、自分が公式を知っている形に分けて考えられないかな。</div> <div data-bbox="706 968 1299 1031" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">分けて足したり、補って引いたりすればよさそうだ。</div> </p> <p>5 自力解決を図る。  </p> <p>6 考えを交流する。 <div data-bbox="706 1346 1240 1409" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五角形を、三角形や台形、平行四辺形など、公式が使える図形に分ければ求められました。</div> <div data-bbox="706 1440 1299 1503" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまでに習った図形に分けると、その公式を使って、どんな形でも面積が求められそうだね。</div> </p> <p>7 まとめをする。 <div data-bbox="676 1587 1329 1661" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまでに学習していない図形の面積は、公式が使える図形を見つけて求めればよい。</div> </p> <p>8 練習問題で確認する。  </p> <p>9 振り返りをする。 <div data-bbox="676 1923 1240 2018" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">五角形を三角形に分ける方法しか思い付かなかったけど、Aさんの台形や平行四辺形に分ける方法でもできること分かりました。</div> </p>	<p>つかむ・見通す</p> <p>調べる</p> <p>練り上げる</p> <p>まとめる</p>	<p>⑩</p> <p>⑬</p> <p>⑩</p> <p>⑫</p>	<p>つかむ・見通す</p> <p>調べる</p> <p>練り上げる</p> <p>まとめる</p>	<p>1 前時の復習をする。</p> <p>2 学習課題を確認し、気付いたことを話し合う。 <div data-bbox="1685 548 2071 590" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どちらの面積が広いでしょう。</div> <div data-bbox="1715 611 2101 674" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">不思議な形だな。こんなラグビーボールみたいな形は初めてだ。</div> </p> <p>3 学習のめあてを確認する。 <div data-bbox="1685 726 2338 800" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまで学習していない図形の面積は、どのようにすれば求められるだろうか。</div> </p> <p>4 解決方法の見通しを立てる。 <div data-bbox="1715 873 2190 936" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おうぎ形が隠れていそうだから、円の面積を求める公式が使えるかもしれない。</div> <div data-bbox="1715 968 2309 1031" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ななめに線を引くと、円の1/4の面積と直角三角形が見えるぞ。公式が使いそう。</div> </p> <p>5 自力解決を図る。  </p> <p>6 考えを交流する。 <div data-bbox="1715 1346 2249 1409" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">この形は、1/4円から三角形を引いた形を合わせた形ということまでは分かりました。</div> <div data-bbox="1715 1440 2309 1503" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1/4円と1/4円を組み合わせているから、半円から正方形を引けば求められました。</div> </p> <p>7 まとめをする。 <div data-bbox="1685 1587 2338 1661" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これまで学習していない図形の面積は、公式が使える図形を見つけて求めればよい。</div> </p> <p>8 練習問題で確認する。  </p> <p>9 振り返りをする。 <div data-bbox="1685 1923 2249 2018" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">円の複雑な形でも面積が分かる図形を見つければ、公式を使って簡単に求められることが分かったから、次はいろんな模様の面積を求めたいです。</div> </p>	<p>(必) 1 単位時間を通して異学年の子供同士が学び合える場を設定するために、両学年共通の学習課題で同時導入を行う。</p> <p>(必) 必要性を意識して課題に取り組めるように、既習から未習へと繋がる課題との出会いを工夫し、予想、感覚、既習事項とのずれを捉えさせる。</p> <p>(必) 必要感をもって課題に取り組めるように、前時までの学習との違いから、気付いたこと（今までと違うこと）に着目させ、全体で本時のめあてを引き出していけるようにする。</p> <p>(自) 本時で使いそうな見方・考え方の手掛かりをもたせるために、既習内容を掲示し、問題解決に適した方法を個々で選択・決定できるように、全体で見通しをもたせる。</p> <p>(自) 自ら学び自ら考える学習を促すために、ロイロノートの資料箱や蓄積してきたテキストを活用させたり、図形が描かれた用紙を使って、実際に操作させたりする。</p> <p>(自) 自力解決が難しい子供には、図形の成り立ちを動画で確認させたり、色の違う四分円のセロファン紙を操作させたり、図形の成り立ちを動画で確認させたり、図形をかかせたりする。</p> <p>(関) 考えを可視化し、類型化による話し合いの焦点化を図るために、考えをホワイトボードに書かせて考えを交流させる。</p> <p>(関) 自分の考えを広げたり深めたりするために、個々の考えの分類・整理を行い、友達のことを聞きながらオンタイムで考えを付け加えさせる。また、交流後には、考えの変容（強固・付加・修正）の要因となった友達のことを自分のロイロノートに加えさせる。</p> <p>(関) まとめへと繋げるために、「ひく」「補ってひく」「ひいて倍にする」といった働かせた見方・考え方の可視化を図り、「公式が使える図形を見つける」という共通点に着目させる。</p> <p>(有) 一般化を図り、達成感や成就感を図るために、適用問題を解く。</p> <p>(有) 自己の変容を肯定的に捉えさせるために、振り返りの際に「じ・か・つカード」を黒板に提示させ、最終的な自分の考えと自己の変容の要因に着目して振り返りをさせる。</p> <p>(有) 学びの深まりや話し合い（学び方）のよさを実感できるように、振り返りを行うとともに、系統性を明らかにするために、異学年の交流を図る。</p>

